

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月11日

上場会社名 株式会社 きらやかホールディングス
 コード番号 8378 URL http://www.kirayaka-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗野 学
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員グループ統括マネージャー (氏名) 佐川 章
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日 特定取引勘定設置の有無 無

上場取引所 東

TEL 023-628-3944(代表)

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,630	—	467	—	95	—
20年3月期第1四半期	9,129	3.8	464	△65.7	575	△40.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	0.26	—
20年3月期第1四半期	4.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	1,201,542	29,199	2.4	169.75
20年3月期	1,166,485	29,973	2.5	175.14

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 29,071百万円 20年3月期 29,848百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、2ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	15,000	—	1,200	—	800	—	6.16
通期	30,000	△23.0	3,200	—	3,100	—	23.90

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 129,982,500株 20年3月期 129,982,500株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 327,785株 20年3月期 308,742株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 129,664,265株 20年3月期第1四半期 127,428,396株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○ 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
第I種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	— —	— —	— —	19 56	19 56
21年3月期	— —				35 00
21年3月期(予想)		17 50	— —	17 50	

(注) 第I種優先株式は、平成19年9月10日に発行いたしました優先株式です。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成20年4月1日～平成20年6月30日)におけるわが国経済は、世界的な需要増加を背景とした原油価格や原材料価格の高騰に伴う物価の上昇、また米国サブプライム問題に端を発した金融不安の拡大により、国内経済においても景気減速傾向が強まりました。

こうした状況のもと、当第1四半期における経常収益は、金融市場の混乱を背景として投資信託の販売実績が低調となったことなどから役務取引等収益が減少、前年同期比4億99百万円減少の86億30百万円となりました。経常利益は、経常収益の減少がありましたが、子銀行合併に伴い継続して進めております営業店舗の効率化や職員数の減少に伴う人件費の削減等による営業経費の削減を進めました結果、前年同期比3百万円増加の4億67百万円となりました。四半期純利益は、特別損失として営業店舗の過年度減損損失を4億27百万円計上しましたこと等から、前年同期比4億80百万円減少して95百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における財政状態については、総資産は、前連結会計年度末比350億57百万円増加して1兆2,015億42百万円となり、純資産額は、前連結会計年度末比7億74百万円減少して291億99百万円となりました。

譲渡性預金を含めた総預金は、当第1四半期末残高は前連結会計年度末比371億99百万円増加して1兆1,262億6百万円となりました。

また、国債、投資信託及び個人年金保険商品などの預かり資産残高は、前連結会計年度末比26億円増加して1,705億円となりました。

貸出金は、当第1四半期末残高は前連結会計年度末比34億49百万円増加して8,507億28百万円となりました。

有価証券は、当第1四半期末残高は前連結会計年度末比248億5百万円増加して2,447億89百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月23日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、当社は、監督官庁の認可を前提として、平成20年10月1日を目処に、当社子会社である株式会社きらやか銀行を存続会社として合併することを承認決議し、合併契約を締結いたしましたので、株式会社きらやか銀行の連結業績予想を記載しております。

また、リース業を営む連結子会社の株式譲渡により、連結変動による収益への影響を含んでおります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(簡便な会計処理)
 - ① 減価償却費の算定方法
定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
 - ② 貸倒引当金の計上方法
「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、前連結会計年度の予想損失率をもとに必要に応じて合理的な見直しを行った引当率を適用して計上しております。
 - ③ 税金費用の計算
法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。
 - ④ 繰延税金資産の回収可能性の判断
繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、年度決算と同様の方法により行っておりますが、重要な変動がないと認められる前提条件については、前連結会計年度末における前提条件を適用しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	31,455	32,021
コールローン及び買入手形	31,000	24,000
商品有価証券	214	218
金銭の信託	94	94
有価証券	244,789	219,984
貸出金	850,728	847,279
外国為替	646	465
その他資産	16,505	15,201
有形固定資産	28,318	29,408
無形固定資産	4,320	4,563
繰延税金資産	5,700	5,645
支払承諾見返	11,490	11,044
貸倒引当金	△23,700	△23,419
投資損失引当金	△20	△20
資産の部合計	1,201,542	1,166,485
負債の部		
預金	1,123,206	1,086,807
譲渡性預金	3,000	2,200
コールマネー及び売渡手形	106	1,102
借入金	4,095	4,637
外国為替	34	33
社債	12,000	12,000
その他負債	10,520	9,349
退職給付引当金	3,588	4,758
役員退職慰労引当金	245	315
利息返還損失引当金	9	9
睡眠預金払戻損失引当金	597	597
繰延税金負債	23	23
再評価に係る繰延税金負債	3,039	3,212
負ののれん	385	419
支払承諾	11,490	11,044
負債の部合計	1,172,343	1,136,511
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	19,513	19,514
利益剰余金	8,272	8,383
自己株式	△103	△100
株主資本合計	37,682	37,797
その他有価証券評価差額金	△12,884	△12,463
繰延ヘッジ損益	△2	△16
土地再評価差額金	4,275	4,530
評価・換算差額等合計	△8,611	△7,949
少数株主持分	127	125
純資産の部合計	29,199	29,973
負債及び純資産の部合計	1,201,542	1,166,485

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間

(自平成20年4月1日

至平成20年6月30日)

経常収益	8,630
資金運用収益	5,976
(うち貸出金利息)	5,189
(うち有価証券利息配当金)	734
役員取引等収益	2,472
その他業務収益	65
その他経常収益	115
経常費用	8,162
資金調達費用	1,045
(うち預金利息)	903
役員取引等費用	1,881
その他業務費用	95
営業経費	4,502
その他経常費用	636
経常利益	467
特別利益	61
固定資産処分益	2
償却債権取立益	59
その他の特別利益	0
特別損失	451
固定資産処分損	23
過年度減損損失	427
その他の特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	78
法人税、住民税及び事業税	209
法人税等調整額	△229
少数株主利益	2
四半期純利益	95

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	78
減価償却費	1,374
負ののれん償却額	△34
減損損失	427
持分法による投資損益(△は益)	△19
貸倒引当金の増減(△)	280
投資損失引当金の増減額(△は減少)	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,169
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△69
資金運用収益	△5,976
資金調達費用	1,045
有価証券関係損益(△)	184
金銭の信託の運用損益(△は運用益)	△0
為替差損益(△は益)	△33
固定資産処分損益(△は益)	21
貸出金の純増(△)減	△3,438
預金の純増減(△)	36,399
譲渡性預金の純増減(△)	800
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	△541
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	△2,499
コールローン等の純増(△)減	△7,000
コールマネー等の純増減(△)	△995
外国為替(資産)の純増(△)減	△180
外国為替(負債)の純増減(△)	0
資金運用による収入	5,571
資金調達による支出	△543
法人税等の支払額	△347
その他	726
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,062
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△42,161
有価証券の売却による収入	13,571
有価証券の償還による収入	2,530
金銭の信託の増加による支出	0
有形固定資産の取得による支出	△531
有形固定資産の売却による収入	45
無形固定資産の取得による支出	△145
無形固定資産の売却による収入	88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△461
自己株式の取得による支出	△4
自己株式の処分による収入	1
その他の収入	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△525
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,065
現金及び現金同等物の期首残高	29,672
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,606

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	銀行業 (百万円)	リース業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益						
(1) 外部顧客に対する 経常収益	6,809	1,603	217	8,630	—	8,630
(2) セグメント間の 内部経常収益	887	82	145	1,116	(1,116)	—
計	7,697	1,686	362	9,746	(1,116)	8,630
経常利益(△は経 常損失)	1,232	△73	△38	1,119	(652)	467

(注) 1. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

2. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

3. 各事業の主な内容は次のとおりであります。

(1) 銀行業・・・銀行業

(2) リース業・・・リース業

(3) その他の事業・・・クレジットカード、ベンチャーキャピタル業他

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

連結会社はすべて国内で事業を営んでおりますので、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

【国際業務経常収益】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額 (百万円)
経常収益	9,129
資金運用収益	6,001
(うち貸出金利息)	5,243
(うち有価証券利息配当金)	683
役務取引等収益	2,794
その他業務収益	20
その他経常収益	313
経常費用	8,665
資金調達費用	981
(うち預金利息)	755
役務取引等費用	2,049
その他業務費用	36
営業経費	4,963
その他経常費用	634
経常利益	464
特別利益	516
特別損失	259
税金等調整前四半期純利益	721
法人税、住民税及び事業税	107
法人税等調整額	26
少数株主利益	11
四半期純利益	575

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	銀行業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益	5,752	3,093	8,845	283	9,129
経常費用	5,706	2,280	7,986	679	8,665
経常利益	45	813	856	(395)	464

(注) 1. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

2. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

3. 各事業の主な内容は次のとおりであります。

(1) 銀行業・・・銀行業

(2) その他の事業・・・リース業他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

連結会社はすべて国内で事業を営んでおりますので、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

【国際業務経常収益】

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

(参考) 平成21年3月期 第1四半期決算説明資料

平成21年3月期第1四半期(平成20年4月1日から平成20年6月30日)における四半期情報について、お知らせします。

1. 損益の状況

(1) 【きらやかホールディングス(連結)】

当第1四半期の損益状況は、当社グループ全体で経常収益は、前年同四半期比4億99百万円減少して86億30百万円となり、経常利益は前年同四半期比3百万円増加して4億67百万円となりました。

また、当四半期純利益は、前年同四半期比4億80百万円減少して95百万円となりました。

(単位：百万円)

	当四半期(A) 〔平成21年3月期 第1四半期〕 (3か月間)	前年同四半期(B) 〔平成20年3月期 第1四半期〕 (3か月間)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 (平成20年3月期) (12か月間)
経常収益	8,630	9,129	△499	38,997
連結粗利益	5,491	5,748	△257	23,249
資金利益	4,930	5,020	△90	20,108
役務取引等利益	591	744	△153	3,115
その他業務利益	△30	△15	△15	25
営業経費	4,502	4,963	△461	19,931
その他経常損益	△520	△320	△200	△4,763
貸倒償却引当費用(△)	316	20	296	4,307
有価証券関係損益	△100	159	△259	△230
その他の経常損益	△103	△459	356	△225
経常利益 (△は経常損失)	467	464	3	△1,445
特別損益	△389	257	△646	△1,113
税金等調整前四半期(当期)純利益 (△は税金等調整前四半期(当期)純損失)	78	721	△643	△2,559
法人税住民税及び事業税	209	107	102	287
法人税等調整額	△229	26	△255	259
少数株主利益	2	11	△9	7
四半期(当期)純利益 (△は四半期(当期)純損失)	95	575	△480	△3,113

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)+(その他業務収益-その他業務費用)

3. 貸倒償却引当費用=貸倒損失額+貸倒引当金繰入額

(2) 【きらやか銀行(単体)】

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、前年同四半期比2億73百万円減少の68億47百万円となり、経常利益は前年同四半期比3億42百万円増加の5億26百万円、当四半期純利益は前年同四半期比69百万円減少の2億83百万円となりました。
また、コア業務純益は、前年同四半期比4億12百万円増加の11億86百万円となりました。

(単位：百万円)

	平成21年3月期 第1四半期(A) (3か月間)	平成20年3月期 第1四半期(B) (注)1 (3か月間)	増 減 (A)-(B)	平成20年3月期 第1四半期 (注)2 (3か月間)	(参考)前期 平成20年3月期 (注)1 (12か月間)	(参考)前期 平成20年3月期 (注)2 (12か月間)
経 常 収 益	6,847	7,120	△ 273	5,752	31,956	30,588
① 業 務 粗 利 益	5,256	5,468	△ 212	4,443	22,643	21,618
コア業務粗利益(①-②)	5,337	5,481	△ 144	4,436	22,645	21,600
資 金 利 益	4,922	4,987	△ 65	4,017	20,030	19,060
役 務 取 引 等 利 益	368	500	△ 132	421	2,612	2,532
そ の 他 業 務 利 益	△ 35	△ 20	△ 15	4	0	25
② (うち国債等債券損益)	△ 81	△ 13	△ 68	6	△ 2	18
経費(△除く臨時処理分)	4,151	4,707	△ 556	3,880	18,543	17,715
人 件 費	1,774	2,182	△ 408	1,734	8,241	7,792
物 件 費	2,152	2,226	△ 74	1,880	9,313	8,966
税 金	223	297	△ 74	265	988	956
③ 業 務 純 益 (一般貸倒繰入前)	1,105	761	344	563	4,100	3,902
コア業務純益(③-②)	1,186	774	412	556	4,102	3,884
④ 一般貸倒引当金繰入額	△ 379	△ 98	△ 281	△ 81	△ 85	△ 102
業 務 純 益	1,484	859	625	644	4,185	4,005
臨 時 損 益	△ 957	△ 674	△ 283	△ 598	△ 6,151	△ 6,048
⑤ 不良債権処理損失額	388	114	274	96	3,882	3,864
貸倒償却(④+⑤) 引当費用	9	15	△ 6	15	3,796	3,762
株式等関係損益	△ 100	153	△ 253	130	△ 305	△ 298
その他臨時損益	△ 467	△ 714	247	△ 633	△ 1,963	△ 1,885
経 常 利 益 (△は経常損失)	526	184	342	45	△ 1,966	△ 2,043
特 別 損 益	△ 391	182	△ 573	285	△ 1,300	△ 1,230
税引前四半期(当期)純利益 (△は税引前四半期(当期)純損失)	135	367	△ 232	331	△ 3,267	△ 3,273
法人税住民税及び事業税	15	13	2	9	36	32
法 人 税 等 調 整 額	△ 163	2	△ 165	2	333	333
四 半 期 (当 期) 純 利 益 (△は四半期(当期)純損失)	283	352	△ 69	319	△ 3,637	△ 3,640

- (注) 1. 平成20年3月期第1四半期及び平成20年3月期については、山形しあわせ銀行の閉鎖決算計数を合算して表示しております。
2. 平成20年3月期第1四半期及び平成20年3月期については、山形しあわせ銀行の閉鎖決算(平成19年4月1日から平成19年5月6日までの分)計数を除いております。
3. 殖産銀行と山形しあわせ銀行の合併に伴い、消滅会社である山形しあわせ銀行の閉鎖決算(平成19年4月1日から平成19年5月6日までの分)の実施により、閉鎖日までの純利益はきらやか銀行の利益剰余金に反映されている関係上、平成20年3月期第1四半期及び平成20年3月期の損益については、(注)2の欄に記載しております閉鎖決算計数を除いた前第1四半期及び前事業年度の損益の状況のほか、(注)1の欄に閉鎖決算計数を合算した前第1四半期の損益の状況を記載して比較を行っております。

2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

当第1四半期末の金融再生法開示債権額は、平成20年3月末に比べ1億円減少して、739億円となりました。また、総与信残高に占める金融再生法開示債権比率は、平成20年3月末比0.05ポイント減少して、8.42%となりました。

【きらやか銀行(単体)】

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

	平成20年6月末	平成19年6月末	平成20年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	103	83	97
危険債権	486	426	495
要管理債権	149	157	147
開示債権合計	739	668	740
正常債権	8,040	8,017	7,994
総与信残高	8,780	8,685	8,734
総与信残高比	8.42%	7.69%	8.47%

3. 時価のある有価証券の評価差額

当第1四半期末のきらやかホールディングス(連結)のその他有価証券の評価差額は、平成20年3月末に比べて、評価損が4億円増加して128億円となりました。

また、きらやか銀行(連結)のその他有価証券の評価差額は、平成20年3月末に比べて、評価損が4億円増加して128億円となりました。

(1) 【きらやかホールディングス(連結)】 (単位:億円) (参考) (単位:億円)

	平成20年6月末				平成19年6月末				平成20年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	2,132	△ 128	2	131	1,970	△ 76	9	86	1,865	△ 124	3	128
株式	111	△ 31	2	33	134	0	9	8	111	△ 42	1	44
債券	1,801	△ 89	0	89	1,757	△ 76	0	76	1,657	△ 72	1	74
その他	220	△ 8	0	8	78	△ 1	0	1	96	△ 9	0	9

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」および「含み損益」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額と時価との差額を計上しております。

2. なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	平成20年6月末				平成19年6月末				平成20年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	195	△ 0	1	1	288	△ 3	0	4	214	1	2	0

(2) 【きらやか銀行(連結)】 (単位:億円) (参考) (単位:億円)

	平成20年6月末				平成19年6月末				平成20年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	2,132	△ 128	2	131	1,969	△ 78	8	86	1,865	△ 124	3	128
株式	111	△ 31	2	33	134	△ 1	7	9	111	△ 42	1	44
債券	1,801	△ 89	0	89	1,757	△ 76	0	76	1,657	△ 72	1	74
その他	220	△ 8	0	8	77	△ 1	0	1	96	△ 9	0	9

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」および「含み損益」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額と時価との差額を計上しております。

2. なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	平成20年6月末				平成19年6月末				平成20年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	195	△ 0	1	1	288	△ 3	0	4	214	1	2	0

4. デリバティブ取引

デリバティブ取引は、お客様の要望にお応えするために取組むものなどが中心で、投機性の高い取引は行っておりません。

1. 【きらやかホールディングス（連結）】

- (1) 金利関連取引 該当ありません。
 (2) 通貨関連取引

区分	種類	平成20年6月末			平成19年6月末			平成20年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	-	-	-	9	0	0	-	-	-
	為替予約	0	0	0	0	△ 0	△ 0	1	0	0
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計			0			0			0

(単位：億円) (参考) (単位：億円)

- (3) 株式関連取引 該当ありません。
 (4) 債券関連取引 該当ありません。
 (5) 商品関連取引 該当ありません。
 (6) クレジットデリバティブ取引 該当ありません。

2. 【きらやか銀行（連結）】

- (1) 金利関連取引 該当ありません。
 (2) 通貨関連取引

区分	種類	平成20年6月末			平成19年6月末			平成20年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	-	-	-	9	0	0	-	-	-
	為替予約	0	0	0	0	△ 0	△ 0	1	0	0
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計			0			0			0

(単位：億円) (参考) (単位：億円)

- (3) 株式関連取引 該当ありません。
 (4) 債券関連取引 該当ありません。
 (5) 商品関連取引 該当ありません。
 (6) クレジットデリバティブ取引 該当ありません。

5. 預金等・貸出金残高

当第1四半期末の預金等残高は、平成20年3月末比372億円増加して、1兆1,271億円となりました。
また、当第1四半期末の貸出金残高は、平成20年3月末比39億円増加して、8,561億円となりました。

【きらやか銀行(単体)】

(単位:億円)

	平成20年6月末			平成19年6月末	平成20年3月末
		19年6月末比	20年3月末比		
預金等	11,271	△274	372	11,545	10,898
うち個人預金	8,596	△213	107	8,810	8,489
貸出金	8,561	84	39	8,477	8,522
うち消費者ローン	2,380	△28	11	2,408	2,368

(注) 預金等には、譲渡性預金を含んでおります。

6. 中小企業等貸出金

積極的な取り組みにより地元中小企業への支援を強化しております。

【きらやか銀行(単体)】

(単位:%、億円)

	平成20年6月末			平成19年6月末	平成20年3月末
		19年6月末比	20年3月末比		
中小企業等貸出金比率	86.34	△4.48	0.31	90.82	86.03
中小企業等貸出金残高	7,392	△306	60	7,699	7,332

(注) 1. 平成20年3月末及び平成20年6月末については、平成19年5月の合併に伴い貸出金区分の統一を行い表示しております。

2. 平成19年6月末については、殖産銀行と山形しあわせ銀行の単体計数を合算して表示しております。

7. 預かり資産残高

お客様のニーズの多様化に対応し、投資信託、個人年金保険等の販売に積極的に取り組んでまいりました結果、当第1四半期末の預かり資産残高は、平成20年3月末比26億円増加して、1,705億円となりました。

【きらやか銀行(単体)】

(単位:億円)

	平成20年6月末			平成19年6月末	平成20年3月末
		19年6月末比	20年3月末比		
投資信託	851	△123	9	974	841
公共債(国債等)	104	9	5	94	98
個人年金保険	749	137	11	612	738
合計	1,705	23	26	1,682	1,678